

科目名	キャリアデザイン5							年度	2026	
英語科目名	Career Design 5							学期	前期	
学科・学年	ITスペシャリスト科	3年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	金井		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア		
【科目の目的】 インターンシップを通じたキャリア形成のための準備を行い、自己理解や企業研究、自己PRを磨く。										
【科目の概要】 この授業は、インターンシップに参加するIT系エンジニア志望の学生を対象にしている。自己理解を深め、キャリアビジョンを形成する第一段階、志望企業や業界の理解を深める第二段階、自己PRと面接対策を行う第三段階の3つに分け、インターンでの目標達成と成長を目指す。										
【到達目標】 自分の適性と強みを理解し、将来のキャリアに沿ったインターンシップの目的を描けるようになる。また、志望企業や業界の理解が深まり、インターンでの成長目標を設定できるようにする。 A:自己理解 B:業界・企業理解 C:インターン目標設定 D:自己PR作成 E:面接・面談準備										
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価対象外とする。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	非常に深い自己理解があり、長期的なキャリアビジョンが具体的に構築されている。	自己理解が深まり、キャリア形成において明確な方向性を描けている。	自己分析を通じて自分の強みや価値観を把握し、キャリア目標を設定できている。	自己分析を始めているが、キャリアの方向性や目標がまだ曖昧。	自己分析が不十分で、適性や強みが明確にできていない。					
到達目標 B	業界・企業に関する理解が非常に高く、各企業の戦略やビジネスモデルまで把握し、インターンシップでの成長を見据えた企業選定ができている。	業界や企業文化についての理解が深まり、インターン先選定において明確な判断ができている。	志望業界・企業のビジネスモデルや社風を理解し、適性を考慮した企業選びができている。	業界や企業の基礎知識はあるが、志望企業の特徴や動向への理解が浅い。	IT業界や志望企業についての理解が不十分で、企業研究が進んでいない。					
到達目標 C	非常に明確な目標設定と詳細な計画が整っており、インターンでの経験を通じて達成すべき成長ポイントが明確になっている。	具体的で現実的な目標設定ができおり、インターンでの成長を見据えた計画が立てられている。	明確な目標と行動計画が立てられており、インターン中に意識すべきポイントが理解できている。	目標は設定しているが、具体性が欠けており、行動計画が曖昧。	インターンでの目標や目的が不明確で、成長意識が低い。					
到達目標 D	自己PRが非常に優れ、志望企業に対してインパクトのある内容で、自己の価値を強く印象づけることができる。	具体的で一貫性のある自己PRが作成でき、志望企業に合った効果的な内容が含まれている。	自己の強みや特徴を的確に伝える自己PRが作成されており、企業に対してアピールできる。	自己PRが準備されているが、具体性やアピール力が不足している。	自己PRが不十分で、自己の強みや価値観が相手に伝わらない。					
到達目標 E	非常に優れた面接対応ができ、逆質問や深掘り質問にも柔軟に答え、強い印象を残せる。	深掘り質問や逆質問にも的確に対応でき、面接官に好印象を与えられる。	基本的な面接マナーを理解し、自己PRや志望動機をスムーズに伝えられる。	面接の基本的な質問には対応できるが、自己PRや志望動機に具体性が欠けている。	面接の基本的な質問に対応できず、準備が不足している。					
【教科書】 キャリアサポートブック										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 課題および授業内で実施するテストの結果について評価する。授業に取り組む姿勢も評価に含まれる。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		キャリアデザイン 5			年度	2026	
英語表記		Career Design 5			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	キャリアの理解	キャリア形成の意識を高め、目指す方向性を考える	1	キャリアデザインの基本概念	エンジニアとしてのキャリアの可能性を把握する	2	
			2	社会人として求められる資質			
			3	エンジニアに求められるスキル・資質			
2	自己分析	自己理解を深め、適性を把握する	1	興味・関心分野の整理	自分の強みや価値観を明確にできる	2	
			2	強み・弱みの分析			
3	キャリアビジョン設計	将来の目標を設定し、インターンの目的を見出す	1	理想のキャリアパスの見える化	将来の方向性とインターンの目的を描ける	2	
			2	中・長期の目標設定			
4	モチベーション管理	自分を律し、継続して成長できる基盤を作る	1	自己管理の重要性	インターンにおける成長の目標と動機を明確にできる	2	
			2	インターンにおける成長の目標設定			
5	ロールモデル分析	ロールモデルを見つけ、参考にする	1	想定しているインターン先のエンジニアの経歴や経験を調査	目標とするロールモデルを見つけられる	2	
6	業界と企業の理解	業界や企業の特徴を理解し、自分に合った企業を探す	1	IT業界の現状や動向	自分の志望業界の基礎知識を持てる	2	
			2	主要企業の特徴を調査			
7	企業文化と社風の理解	自分に合ったインターン先企業を選択する判断力を養う	1	各企業の文化や価値観の違いを調査	自分に合う企業文化を説明できる	2	
			2	自分との適合性を考える			
8	企業のビジネスモデル	志望企業の強みや成長分野を理解する	1	インターン参加希望企業のビジネスモデルを分析	志望企業のビジネスモデルを説明できる	2	
			2	価値提供の方法			
9	インターン目標設定	インターンでの活動内容や目標を設定する	1	期待する経験を具体化	インターンの具体的な目標を設定できる	2	
			2	インターンで達成したい目標を設定			
10	チームワークとコミュニケーション	チームでの活動に適応し、円滑な業務遂行を目指す	1	インターン中に必要なコミュニケーションスキルの理解	チームワークの重要性を理解できる	2	
11	志望動機の作成	志望理由を明確に伝えられるようにする	1	志望企業や職種に応じた志望動機の作成	企業に合った志望動機を作成できる	2	
12	自己PRの作成	魅力的な自己PRを準備し、相手に伝える	1	強みや実績を生かした自己PRの作成	効果的な自己PRを作成・伝達できる	2	
			2	実践練習			
13	面接対策（1）	面接での第一印象を良くし、安心感を与える	1	初回挨拶のマナー	基本的な面接マナーを理解し実践できる	2	
			2	面接時の基本的な質問への回答準備			
14	面接対策（2）	面接で自信を持って発言し、質問に柔軟に対応する	1	よくある質問への具体的な回答準備	面接での質疑応答に柔軟に対応できる	2	
			2	逆質問の準備			
15	インターンシップ計画の最終確認	インターンでの成長を最大化する準備を整える	1	インターンでの行動計画や目標の最終調整	インターンでの活動計画が明確になっている	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等